



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

聖書の言葉

「神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練にあわせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるように、逃れる道をも備えていてくださいます。」

聖書(第1コリント書10章13節)

牧師 河合裕志

時に人々の間で「耐えられないような試練はない」といった言葉を聞くことがある。以前白血病にかかった水泳の池江選手も言っていた。彼女はこの言葉を胸によく試練に耐え見事カムバックを果たした。

この言葉は聖書が出所になっている。これを見ると神が私達人間を試練にあわせると読める。そうに違いない。但し「それに耐えられるような試練に」。宗教改革者のカルヴァンは言う。「神はご自身が私達に授けられた力の程度に応じて試練を加減したもう」。Aさんは大きな力を持つので大きな試練を、Bさんは小さな力なので小さな試練を、と言った具合か。

しかしどっちにしても試練は有難いものではない。それは病気とか負傷、死別、事業の失敗や人間関係の破れ...など人様々。どれも招かざる客。御免こうむりたい。こうしたものを神が与えるとは理解し難い。この点聖書はこんなことを言っている。少々長いけど引用。

「わが子よ、主(神)の鍛錬を軽んじてはいけない。主からこらしめられても、力を落としてはいけない。なぜなら、主は愛

する者を鍛え、子として受け入れる者を皆、鞭打たれるからである。あなたがたは、これを鍛錬として忍耐しなさい。(中略) およそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後になるとそれで鍛え上げられた人々に、義という平和に満ちた実を結ばせるのです」(ヘブライ書12章5～11節)。

試練は元々心の強さや力の程度をためすための苦難を指すけれど、これはまさに鍛錬と言ってよいもの。試練にあつて人は精神力が鍛えられて行く。神は私達をより強い人間とするために時に愛の鞭をふるわれるということ。

ただ人間は弱さを持っている。試練に耐えられるような「逃れる道」があれば有難い。それを神は備えていると言う。それは何? 友人、家族、行政...これらがあれば大きな助けになる。それと神自身、またキリストの存在、これを信仰する者は抱いている。父なる神は人間救済のために愛する独り子イエス・キリストを世に派遣。そして神とキリストは常に私達に寄添って歩み試練を共に担ってくれる。これは誠に心強く感謝なこと。

集集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前10時

牧師面談：水曜日午後1時～7時